

ロシア 東欧 経済速報

社団法人 ロシア東欧貿易会 〒104-0033 東京都中央区新川1-2-12 金山ビル Tel.(03)3551-6218
ロシア東欧経済研究所 <http://www.rotobo.or.jp> [年間購読料・送料共前納 18,000円]

2001年(平成13年)8月15日 No.1201

目次

| | |
|---------------------------------------------------|-------|
| ロシアの銀行業は今(上) | 坂口泉 1 |
| ーロシア金融危機3周年に寄せてー キーパーソン | 7 |
| ロシア・ニジェゴロド州で左派系知事が誕生/7 CIS・中東欧諸国通貨の為替レート | 7 |

ロシアの銀行業は今(上)

ーロシア金融危機3周年に寄せてー

はじめに 1998年8月の経済・金融危機以降、ロシアの銀行をめぐる外的環境はかなり大きく変化した。たとえば、主要な投資先のひとつであった短期国債市場が事実上崩壊し、各行とも代替の資金運用先を見いだすことを余儀なくされている。また、最近では、民営化がかなり公正な形で行われるようになってきていることに加え、ほとんどの優良企業において支配権が確立してきたこともあり、企業の買収や転売を派手に行うことが困難になってきている。さらに、経済危機前の1997年頃と比較すれば、外国からの資金調達が困難となっている。

このような外的環境の変化に応じ、ロシアの各銀行もそれなりに変化してきているが、本質的な部分はあまり変化していないように思われる。

本稿では、この「変化していない本質的な部分」を中心に、経済危機以降のロシア銀行業の状況につき考察を試み、2回に分けてお送りする。本号ではまず、ロシアの大手銀行に全般的に見受けられる特徴について述べることにする。次号では、主要銀行をピックアップして、それぞれの特性や最新の動向を紹介する。

なお、本誌でもすでに予告しているとおり、当研究所発行の『ロシア東欧貿易調査月報』では「ロシア経済危機から3年」と題する特集号の刊行を予定している(次頁参照)。この特集号で筆者は、銀行の問題に加え、経済危機後のロシアの産業構造、企業グループの問題についても論じているので、そちらの方もあわせてご参照いただきたい。